SNC-VM772R

リリースノート

Ver.1.3.0

2020/1/24

Sony Corporation

変更履歴

#	リリース日	バーション	主な変更内容及び、コメント
1	2015/07/09	1.0.0	VMS インテグレーション用先行リリース
2	2015/09/14	1.0.2	出荷用ファームリリース
3	2015/12/11	1.0.5	出荷後のフィードバック反映
4	2016/02/26	1.0.6	不具合修正
5	2017/03/29	1.1.0	機能追加、変更 不具合修正
6	2018/12/21	1.2.0	機能追加 不具合修正
7	2020/01/24	1.3.0	機能追加 不具合修正

目次

SNC-VM772R 0
1. 本リリースバージョンについて 3
1.1. 全般について 3
1.2. ソフトウェアバージョンアップ方法について 3
1.3. 動作環境について 3
1.4. 互換性について 4
2. 新規機能追加 5
2.1. Ver.1.3.0 で追加または変更した機能 5
2.2. Ver.1.2.0 で追加または変更した機能 5
2.3. Ver.1.1.0 で追加または変更した機能 5
2.4. Ver.1.0.6 で追加した機能 6
2.5. Ver.1.0.5 で変更した機能 6
3. 改善した問題点 7
3.1. Ver.1.3.0 で改善した問題点 7
3.2. Ver.1.2.0 で改善した問題点 7
3.3. Ver.1.1.0 で改善した問題点 7
3.4. Ver.1.0.6 で改善した問題点 8
3.5. Ver.1.0.5 で改善した機能 8
4. 機能制限について 9
4.1. ビデオ周波数設定とモニタリフレッシュレート設定 9
4.2. Evidence Shot モード Image1 の Edge Storage 記録について 9
4.3. ActiveXViewer 表示する際の PC 設定について 9
4.4. User/Password のチェック機能について 9
4.5. ピクチャープロファイルの切り替え設定について 9
4.6. 表示レイテンシについて 9
4.7. SD OFF スイッチ押下後の Edge Storage 記録について 10
4.8. インテリジェントコーディングについて 10
4.9. SSL 機能有効時のアップグレードについて 10

1. 本リリースバージョンについて

1.1. 全般について

本リリースバージョンは 1.3.0 になります

対象モデル: SNC-VM772R

1.2. ソフトウェアバージョンアップ方法について

カメラのソフトウェアを本バージョンにバージョンアップするには SNC toolbox V.1.6.1 以降をお使いください。バージョンアップ手順につきましてはアプリケーションガイドをご覧ください

1.3. 動作環境について

カメラの映像を見たり、制御したりするコンピューターには、次の動作環境が必要です。

- OS

  Microsoft Windows 7(32bit 版、64 bit 版)

  Microsoft Windows 8.1(32bit 版、64 bit 版)

  Microsoft Windows 10 (32bit 版、64 bit 版)

  動作検証済みエディション:

  Windows 7 : Ultimate、Professional

  Windows 8.1 : Pro

  Windows 10 : Pro

  Microsoft DirectX 9.0c 以上

- Web ブラウザ

  Microsoft Internet Explorer Ver 11

  Firefox Ver.70.0(プラグインフリービューアーのみ対応)

  Google Chrome Ver.78.0 (プラグインフリービューアーのみ対応)

- CPU

  Intel Core i7、3.4 GHz 以上

- メモリー

  8GB 以上

- ディスプレイ

  3840x2160画素以上

- グラフィックボード

  4K/H.264 30fpsのStreamingを表示する場合、以下の動作確認済みのグラフィックボードと同等以上のグラフィックボードをお使いください

  ・動作確認済みグラフィックボード

  - NVIDIA Quadro K620
  - Geforce GeForce GTX960

1.4. 互換性について

本バージョンは、SNC-VM772R Ver1.0.0 で提供した機能に関して CGI コマンド、RTSP その他のネットワークプロトコル、ストリーミングに関するデータフォーマットにおける変更はありません。外部接続機器との相互接続性に対して SNC-VM772R Ver1.0.0 および Ver1.0.2、Ver1.0..5、Ver1.0.6、Ver1.1.0、Ver1.2.0 との互換性があります。

2. 新規機能追加

2.1. Ver.1.3.0 で追加または変更した機能

- セキュリティを強化しました
- カメラの初回アクセス時に、管理者のパスワード変更が必要になりました。
  管理者のユーザー名とパスワードの初期値は下記になります。
  ユーザー名：admin
  パスワード：Admin_1234
  ユーザー名は 5 ～ 16 文字、パスワードは 8 ～ 28 文字で設定してください。ユーザー名、パスワードは、「, （カンマ）」、「＃」、「＆」、「：」、「 （スペース）」を除く英数字を使用してください。パスワードは、英字、数字の両方を使用してください。
  【注意】バージョンアップを実施するユーザーへの注意事項
  - Ver 1.3.0 へバージョンアップを実施する前に、管理者とユーザーのユーザー名、パスワードを上記仕様で設定してください。
  - もし、上記仕様で設定を行わず Ver 1.3.0 へバージョンアップを行った場合、管理者とユーザーのユーザー名とパスワードは全て初期化されます。
- 工場出荷設定を行う時に、「ネットワーク設定を保持する」の項目にチェックをすると、ネットワーク設定に加えて管理者のユーザー名とパスワードも保持されます。

2.2. Ver.1.2.0 で追加または変更した機能

- セキュリティを強化しました
- TLS 1.2 に対応しました
- カメラ妨害検知の自動クリア機能に対応しました

2.3. Ver.1.1.0 で追加または変更した機能

- セキュリティを強化しました
  【ご注意】ActiveX のインストールに失敗する場合は、最新の Windows セキュリティパッチを当ててください
- Windows10 に対応しました。
- WEBUI の IPELA ロゴを削除しました
- 「出力モード」設定で「Full HD」が選択可能になりました。
- 動体検知機能設定において、「環境による誤検知を低減」と「低減レベル」の設定が可能になりました。
- インテリジェントクロッピング機能使用時に metadata.cgi で通知される情報を追尾監視範囲ではなく、切り出した関心領域の座標に変更しました。
- 稼働時間を積算する「アワーズメーター」機能に対応しました。
- タイムゾーン設定を以下のように変更しました。

Ver. 1.0.6		Ver. 1.1.0	
America/Caracas	(GMT −4:30) Caracas, La Paz	America/Caracas	(GMT −4:00) Caracas, La Paz
Asia/Baku	(GMT +4:00) Baku, Tbilisi, Yerevan	Asia/Baku	(GMT +4:00) Baku
		Asia/Tbilisi	(GMT +4:00) Tbilisi
		Asia/Yerevan	(GMT +4:00) Yerevan
Asia/Magadan	(GMT +11:00) Magadan, Solomon Is., New Caledonia	Asia/Magadan	(GMT +11:00) Magadan
		Etc/GMT-11	(GMT +11:00) Solomon Is., New Caledonia

2.4. Ver.1.0.6 で追加した機能

- 本バージョンで追加した機能はありません

2.5. Ver.1.0.5 で変更した機能

- 互換性向上のため ONVIF メタデータの解釈を変更し、出力仕様を一部変更しました

3. 改善した問題点

3.1. Ver.1.3.0 で改善した問題点

- 4K ストリーミング再生時に時刻設定（NTP 同期を含む）が行われると、映像が乱れる場合がある問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.1.0 の問題点、Ver.1.3.0 にて対策）
- ビューアー認証を有効にして RTSP ストリーミング再生を行うと、途中で切断されてしまう問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 の問題点、Ver.1.3.0 にて対策）
- RTSP ストリーミング再生時、セッションが途中で切断される場合がまれに発生する問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 の問題点、Ver.1.3.0 にて対策）
- SNCtoolbox から、カメラのポート番号を変更できない場合がある問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.0 の問題点、Ver.1.3.0 にて対策）
- タイムゾーン選択において、下記の地域を選択した場合、実際の時刻と一致しない問題を修正しました。
  - （GMT +3:00) Moscow,St.Petersburg,Volgograd
  - （GMT +5:00) Ekaterinburg
  - （GMT +8:00) Irkutsk, Ulaan Bataar
  - （GMT +9:00) Yakutsk
  - （GMT +10:00) Vladivostok

  （Ver.1.2.0 の問題点、Ver.1.3.0 にて対策）

3.2. Ver.1.2.0 で改善した問題点

- パケットロスが頻発する環境において RTSP マルチキャストストリーミングを使用すると、カメラが再起動することがある問題がありましたので、修正しました。

3.3. Ver.1.1.0 で改善した問題点

- インテリジェントコーディング機能において、動体が追尾領域外に出た後、新規の動体を追尾対象として認識しないことがあるという問題がありましたので改善しました。
- インテリジェントクロッピング機能において、1 つの動体が 2 つの領域に切り出されてしまうことがあるという問題がありましたので改善しました。
- ホワイトバランス設定において ATW モードを選択した時のナトリウム灯下での色再現性を改善しました。
- AcitiveXViewerにてStreaming表示する場合、Bピクチャを有効にするとスムーズに映像が表示されない場合があるという問題がありましたので改善しました。

- ビデオ／オーディオメニューのビデオコーデックタブにおいて、画像サイズが 4K の場合、H.264 プロファイルの選択肢に Main が表示される問題がありましたので、修正しました。
- ビデオ／オーディオメニューの画像タブにおいて、ピクチャープロファイルの切り替え条件をセンサー入力以外から「センサー入力」に変更するとセンサー入力のプルダウンメニューに「LIGHT SENSOR」が表示される問題がありましたので、修正しました。
- ビデオ／オーディオメニューのデイ／ナイトタブに表示される文言に「画質タブ」と表示されていた箇所がありましたので、「画像タブ」に修正しました。
- ネットワークスイッチの故障などでネットワークインタフェースの Link Down から Link Up に切替るタイミングで RTP/RTSP over HTTP Streaming の再接続が発生すると稀にカメラとの通信ができなくなることがあるという問題がありましたので、修正しました。
- スーパーインポーズ機能において、フォントを中/小/自動のいずれか、かつ、タイプをイベントに設定したときに、稀にカメラが再起動することがあるという問題がありましたので、修正しました。

3.4. Ver.1.0.6 で改善した問題点

- PC からカメラにアクセスした時に、ActiveX（動体検知/顔検知）がインストールできない問題がありましたので、修正しました。
  （Ver.1.0.5 の問題点、Ver.1.0.6 にて対策）

3.5. Ver.1.0.5 で改善した機能

- View-DR が出力モードに関わらず設定できる仕様を、View-DR が有効になる 4K マルチストリーミングの時だけ設定できるように設定画面の仕様を変更しました
- インテリジェントコーディングの動体追尾において領域を拡大し、視認率を上げました
- NR（XDNR）および 露出制御の特性を変更し、薄暗い環境での動体視認性を改善しました
- 長時間使用後に動体検知枠設定画面で追尾枠が表示されないことがある問題を改善しました
- まれに再起動がかかったり、カメラが応答しなくなる現象を改善しました
- RTP over RTSP 接続において、途中で通信が切断されてしまうことがあるのを改善しました
- Edge Storage 再生の動作が不安定になる現象を改善しました
- Video Capability の CapableBitrate<n>の問い合わせをする場合、target=All で問い合わせをすると VBR Bitrate の最大値で制限をかけた値を返してしまう問題を修正しました

4. 機能制限について

4.1. ビデオ周波数設定とモニタリフレッシュレート設定

ActiveXViewer では 4K の Streaming 画像をなめらかに表示するために Direct2D を使用しています。そのため画像を滑らかに表示するため、ビデオ周波数と PC モニタのリフレッシュレートの周波数を合わせてお使いください。（ビデオ周波数 60[Hz]、50[Hz]の設定に合わせて、それぞれ PC モニタのリフレッシュレートを 60[Hz]、50[Hz]に合わせる必要があります）

4.2. Evidence Shot モード Image1 の Edge Storage 記録について

Evidence Shot モード Image1（Motion JPEG）の記録ビットレートは被写体によって Edge Storage の保証レート（8Mbps）を超えることがあります。設定する際にはご注意ください。

4.3. ActiveXViewer 表示する際の PC 設定について

PC のディスプレイ設定を拡大設定（例、125%、150%など）にしていると、ActiveXViewer のライブ画面の一部が表示されないことがあります。画像をすべて表示させるためには PC のディスプレイ設定を 100%にしてください

【PC のディスプレイ設定方法】

① コントロールパネルを開き、すべてのコントロールパネル項目を表示する
② コントロールパネル項目からディスプレイを選択してクリックする
③ ディスプレイ設定の 100%をチェックして適用を押す

デフォルトは 100%になっていますので通常は設定の必要はありませんが、100%以外の設定にしている場合に上の手順で再設定してください

4.4. User/Password のチェック機能について

“&”を User、Password に入力すると”不正なパラメータです”と警告を表示しますが、その他の禁止文字列（”,”（カンマ）、“#”(シャープ)、” “(スペース)”、”:”(コロン)）を入力しても警告表示がでませんのでご注意ください。

4.5. ピクチャープロファイルの切り替え設定について

「イベント発生時の設定」のスケジュール設定は、次のイベント発生の条件が発生した場合に有効になります。例えば、イベント発生の条件になる期間中にイベント発生時の設定をしても即時に設定が反映されず、次に条件と合致したときに設定が反映されます

4.6. 表示レイテンシについて

ActiveXViewer で FHD 以下の Streaming を表示させる場合、ハードウェアアクセラレーションを無効にすると表示のレイテンシが短縮できます。（4K の Streaming 表示に対してハードウェアア

クセラレーションの処理が有効になりますので FHD 以下のサイズに対してハードウェアアクセラレーションを無効にして画質に対する影響はありません）

4.7. SD OFF スイッチ押下後の Edge Storage 記録について

Edge Storage 動画の録画開始ボタンを ON、あるいはスケジュールタブ/EdgeStorage タブ/EdgeStorage 動画-「常時」のチェックボックスを ON にして Edge Storage 記録中に SD OFF スイッチを押下後、SD カードを再挿入し Edge Storage 記録を行う場合には録画開始設定を再度行ってください。

4.8. インテリジェントコーディングについて

動体追尾設定は4つまでとなります。動体が多いことが予想される場合や動体の移動速度が速い場合には固定領域設定の併用をお勧めします。

4.9. SSL 機能有効時のアップグレードについて

SSL 機能を有効にしている状態でアップグレードを行うと失敗すること があります。 カメラの SSL 機能を無効にしてからアップグレードを実行していただくことをお勧めします。 アップグレード終了後に SSL 機能の設定は元にお戻しの上ご使用ください。